



令和5年11月1日

# らいかい恵子 議員便り 260号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

今年は秋がないのかと思っていたら突然朝晩冷え込み、ようやく秋らしくなってきました。私は急に寒くなる時期が心細くて一番苦手で、食欲で補っています。「天高く来海肥える秋！」アハハハ( \_ )-☆  
来海は、毎月一人で議員だよりを8000枚配っています。



【令和5年9月議会一般質問から抜粋】

## ゾーン30が 交通渋滞解消の一助に!

**来海:**ゾーン30を、3年前に合志市に取り入れられた経緯を伺います。

**総務部長:**ゾーン30は、平成23年9月から始まった生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つです。生活道路が集まり、2車線以上の幹線道路等に囲まれた特定の区域内に、警察が行う最高速度、時速30キロメートルの速度規制を実施するとともに、交差点内のカラー舗装などの安全対策を必要に応じ組み合わせながら区域内の車両の走行速度や通り抜けを抑制するための取り組みです。



合志市のゾーン30の導入は、車両の通り抜け、とりわけスピードを超過する車両に悩まされて従前から相談を受けていた永江団地にモデル的に取り組みました。それまでにも、路肩のカラー舗装や中央線の抹消などの対策を行ったものの、なかなかその効果が表れなかったため、速度規制、通り抜けの抑制を目的として取り入れたものです。



**来海:**ゾーン30導入の県警の交通規制課長と打合せ時に、市長が「新しい道路1本つくるには莫大な費用がかかるが、規制をかけると余り予算もかからず効果がある。」と仰ったと聞いて同じ思いです。そこでゾーン30とゾーン30プラスの違い、それとゾーン30を実施している地区は、この3年間で何か所になったのかを伺います。

**総務部長:**ゾーン30は、特定の区域内に警察が行う速度規制などを実施するとともに、安全対策を必要に応じ組み合わせながら区域内の車両の走行速度や通り抜けを抑制することを目的とした取り組みです。

ゾーン30プラスは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間のさらなる推進を図るため、最高速度時速30キロメートルの区域規制と、狭さくやスラロームなどの物理的なデバイス(支障物)の適切な組み合わせにより、交通安全の向上を図ろうとする区域の取り組みです。ゾーン30との違いは、物理的なデバイス(支障物)がプラスされたというかたちになります。

現時点で、永江団地(北側ゾーン30、南側ゾーン30プラス)と杉並台団地(ゾーン30プラス)の2地区です。

**来海:**熊本県警は、ゾーン30とゾーン30プラスを増やしたい。合志市の交通安全の管轄は安全安心課、実行部隊の路面標示や<sup>※</sup>ハン



プ(凹凸の舗装)を付けるのは建設課です。私が観察していると、横の連携がないと感じます。安全安心課に言うと、「それは建設課です。」建設課に言うと、「聞いてないですよ、安全安心課ですよ。」熊本県警は、「予算はついてますよ。」担当者は、移動などで変わります。行政評価導入時に事務事業評価は担当者が代わったときの引き継ぎになると言われましたが、担当者が代わるとまた何度も同じことを新しい担当者に説明しなければ分かってもらえません。「ゾーン30の事務事業評価を見せてください。」と要請したら、「交通安全施設設置事業に、ゾーン30は入っています。」と言われましたが、カーブミラーしか入っていませんでした。本当に、ゾーン30を進めたいのでしょうか。TSMCが来るし、本市でも課題は安全・安心と交通渋滞で、各団地内が抜け道になり接触事故も起こっています。ゾーン30の事業を進めていくには、関係各所(安全安心課・建設課・警察)と一緒に地区の人たちと相談して進めないと、交通渋滞の解消はできないし、導入地区も増えないのではないのでしょうか。ぜひ、横の連携を取り入れて欲しいのですが。

**総務部長** :ご指摘のとおりでございます。庁内、関係機関との間の連携不足で、デバイス

(支障物)の選定や設置箇所、設置による影響などについて、地元自治会での調整や判断に委ねてしまって、時間を要したという状況です。地元自治会からの意見や要望への対応に、相談体制やアドバイスなど寄り添う姿勢が不足していたと反省しています。ゾーン30とゾーン30プラスの実施については、対象区域における事故発生状況や地域の課題を整理し、地域のお住いの方々や地元自治会、警察や道路管理者などの関係機関と協議して、連携を図りながら整備を進めます。

杉並台地区では、令和3年度末に警察

による区域内の時速30キロメートルの速度規制、速度制限が実施され、昨年度は路面標示の設置も行いました。ただ、完了にまでには至っておりません。現在の進捗状況は、地元自治会役員と安全安心課、建設課において、カラー舗装などの安全対策と速度抑制対策に効果的な物理的なデバイス(支障物)を組み合わせたゾーン30プラスの整備に向けて所轄警察署の指導を仰ぎながら協議を進めて整備完了を目指していきたいと思っています。

また、事務事業評価については、職員の共通言語として取り入れるということで話し合いの場でも使えるように取り組んだものです。今後も記入の仕方についても、周知していきたいと思います。

**来海** :次に取り入れたい地区があったら、ぜひ親切に何回も行ったり来たりしないで、横の連携でぐっと縮まった話し合いの場を持っていただければと願います。それがスピード違反の取り締まりや、通り抜けの抑制につながると思います。



段になっているので、車はスピードを落とす。



※ハンプ(デコボコの舗装になっているところ)

**\* 質問した感想...**交通渋滞を解決するには、ゾーン30に交通規制(時間規制や一方通行)などを組み合わせるとより効果がでると考えられます。

ゾーン30についての問い合わせ先:安全安心課 ☎096-248-1555

# 子どもたちは 大人の背中を見えています!

9月8日、4年ぶりに杉並台では敬老会が開催されました。子どもたちの代表として6年生の西本奨君と高田愛花さんが感謝の言葉を述べ、会場は感動で包まれました。「近頃の子どもは、挨拶はしない。」と言われる方がいますが、子どもたちは黙って大人の背中を見えています。



敬老の日おめでとうございます。いつも、私たちの登下校を見守ってくれてありがとうございます。夏の暑い時や冬の寒い時に見守ってくれるので、安心して学校に行けます。そして、横断歩道では信号待ちの時に話しかけてくれて楽しいです。また、学校行事の地域のゴミ拾いを手伝ってくれてくれる人もいて、すぐにゴミ拾いが終わりました。他にも、運動会に来てくれる人もいたり、すれ違うと声を



かけてくれる人もいて、本当に優しんだなあと思います。七夕の短冊や飾りを作る時に、優しく私たちの知らない飾りや可愛い物教えてくれたり、短冊がつるせなかった時には代わりに

つるしてくれてありがとうございます。“ぽっかぽかマルシェ”や夏祭りでは、子どもたちが楽しめるスーパーボールすくいやカキ氷などを準備してくれてありがとうございます。コロナで夏祭りがなくて悲しかったけど、今年は夏祭りができて嬉しかったです。

これからも、お元気で長生きして私たちを見守ってください。

高田愛花

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>

 らいかい恵子

